



平成 29年度第4回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 29年 10月 21日(土)13:00~17:15

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏名	坪井	岡本	新井	渡瀬	長谷川	赤堀	大瀧	篠原	小嶋	福山	矢ノ下
出欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏名	若林	石垣	池谷	原田	久保田	古橋	渡邊	鈴木	寺田	諏訪	田森
出欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
監事	秋谷	紅林									
出欠	○	○									

開 会 定刻に至ったため、岡本副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、公衆衛生事業部の大瀧理事と研究教育事業部の小嶋理事が指名された。

1 会長あいさつ

2018 年度の厚労省の予算 2.4%増加、海外支援アジア 17 か所、死亡率過去最低、病院の収支は委託をしていたところが悪化、完全直営が良い。

時代が栄養士会に様々なことを求めているので、対応していかないといけない

日本が超高齢社会でお金がない中、市町が動きはじめ高齢者対策に専門職能団体に期待をしている。

このような状況を会員に周知し、会員はスキルを上げ、エビデンスを出さなければいけない。

各事業部会でどのような場面が起こっているか確認してみる。県民に栄養教育だけでなく実践できる知恵をつける。多くの活動を行っているが、花を咲かせるようにしてほしい。

2 前回議事録の確認

- ・第 5 回理事会議事録（案）

前回一意で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）

(1) 会長

- 7/26 県衛生課との打ち合わせ (県栄事務所)
7/27 静岡市第1回食育推進会議 (静岡市消防局5階会議室)
8/9 第11回「ふじのくに食育コンテスト」 (浜松東海調理製菓専門学校)
8/26・27 東海北陸地区会長等合同会議 (愛知県名古屋市「アイリス愛知」)
8/31 第1回8020推進住民会議 (歯科医師会館301会議室)
8/31 静岡県歯科医師会第1回オーラルフレイル対策事業準備委員会 (歯科医師会館302会議室)
9/7 静岡県 特定健診・特定保健指導推進協議会 (シズウェル101会議室)
9/7 県委託「しずおか健幸メニュー普及事業」会議 (県庁西館会議室)
9/9 日栄「栄養士制度検討委員会」 (日栄事務所)
9/14 静岡市フレイル予防講演会 (AOI 7階講堂)
9/19 静岡県牛乳普及協会料理コンクール書類審査会 (ホテル竜宮)
9/20 ふじのくに健康推進事業「食育部会」事前打ち合わせ (中北薬品静岡支店)
9/21 県委託「しずおか健幸メニュー普及事業」会議 (県庁西館4階会議室)
9/22 ふじのくに健康増進計画推進協議会「歯科保健部会」 (県庁西館4階会議室)
9/27 ふじのくに健康増進計画推進協議会「食育部会」会議 (県庁西館4階会議室)
10/1 静栄栄養ステーション会議 (県栄事務所)
10/1 静岡県牛乳普及協会 料理コンクール 静岡県大会審査 (静岡市鈴木学園)
10/11 第2回8020推進住民会議 (歯科医師会館301会議室)
10/12 静岡市静岡医師会との合同研修会 (静岡市静岡医師会館)
10/14 日栄「第4回 栄養士制度検討委員会」 (日栄事務所)
10/19 静岡市第2回食育会議 (新庁舎17階会議室)

(2) 岡本副会長

- 8/19 愛知県栄養士会 講師 (名古屋国際会議場)
8/27 日本栄養士会 TNT-D 講師 (東京医科歯科大)
9/9 西部ブロック研修会&交流会 (浜松)
9/30 研修会 (静岡 あざれあ)
10/9 日本栄養士会 TNT-D 委員会 (東京)

(3) 新井副会長

- 7/26 県衛生課との打ち合わせ (県栄事務所)
8/6 栄養の日 (横浜)
8/24 県委託「しずおか健幸メニュー普及事業」会議 (県栄事務所)
8/26,27 東海北陸地区会長等合同会議 (愛知県名古屋市「アイリス愛知」)
9/21 県委託「しずおか健幸メニュー普及事業」会議 (県庁西館4階会議室)
10/8,9 「健康な食事について考える」冊子作成事業に関する業務 (浜松:常葉大学)
10/12 静岡市静岡医師会との合同研修会 講師 (静岡市静岡医師会館)

4 報告事項

(1) 研修部

① 研修会実施報告 (8~9月)

- ・8/26 (土) 「食物アレルギー」

参加 95名 (うち会員外7名)

- ・9/3 (日) 「パワーポイントによる教育媒体作成」

参加 15名

- ・9/30 (土) 「サルコペニア、フレイルティの進行を防ぐための栄養管理」

参加 124名 (うち県外会員1名)

「認知症の摂食障害の問題点とその対策最短トラブルシューティング」

参加 126名 (うち県外会員1名)

- ・満席が予測されたため1番前から詰めて着席してもらった。
- ・高齢者における食欲不振や栄養不良は、フレイルやサルコペニアの発症と関連があり、転倒予防や介護予防の観点から重要である。六君子湯が食欲増進ホルモンであるグレリンの働きを高めることで食欲亢進、消化管運動促進作用、サルコペニア防止に繋がるなどの話がされた。
- ・認知症患者における ESPEN ガイドライン (2015) の最新情報の話もされた。

② 交流会実施報告 (西部)

- ・9/9 (土) 「神経性やせ症などによる摂食障害」 その病態と治療について

参加 53名 (うち、会員外6名)

西部地区交流会

参加 31名 (会員25名、非会員6名)

- ・非会員6名は、ホームページを見てきた人がほとんどだった。ホームページで早めにPRすることが大切だと感じた。非会員には入会申し込みを渡し、入会を勧めた。

③ 日栄 生涯教育の推進、基本DVDについて (下記資料参照)

- ・生涯教育の推進について、生涯教育推進に向けた対策について
- ・別紙 (生涯教育推進に向けた貴会の対策について)
- ・生涯教育基本研修DVDの販売について・DVD活用に関するQ&A
- ・(生涯教育の推進)現在、医療や介護・福祉の分野のみならず、さまざまな分野で食事・栄養管理が注目されている。専門職は、単に専門資格を持つことではなく、実務をとおして専門的技術を発揮して社会に貢献できることがその役割。そのために、管理栄養士・栄養士は常に自己研鑽し最新の知識・技術を駆使して実務に当たることが求められる。

現在、国は食育や地域包括ケアシステム (2025年問題) 推進等さまざまな方面から栄養政策を推進しており、種々の職種が質の担保と向上に取り組んでいる。日本栄養士会では生涯教育をキャリアアップ制度として位置付け、専門職としての質の担保を認定する制度を組み入れた。

このような背景から、内外に専門職としての実体を示すために平成32年度 (2020年) までに、会員数の約1割となる5,000人の認定管理栄養士・認定栄養士輩出が必要と考えている。各都道府県栄養士会においては約1割の会員に認定制度を進めていただきたい。

専門職としての実体形成にむけ、多くの認定者の輩出を図るべく生涯学習からの移行措置期間を平成31年度（認定審査は32年）までに延長。生涯教育の活性化を図るとともに、現在、第一線で活躍されている会員も含め認定審査の申請をご推奨ください。

管理栄養士・栄養士のリーダーとして内外ともに認められ、活躍できる人材育成を見える化した本制度を、実体形成の重要なひとつとして、さらなるご協力を賜りますよう、ご検討をお願いいたします。

・ (DVD販売) 販売項目：以下5項目（4-4, 4-5については2項目で1組のDVD）

- 1. 専門職としての役割と倫理綱領
- 4-2. 栄養スクリーニング
- 4-3. 栄養アセスメント
- 4-4. 栄養診断・4-5栄養診断にもとづいた管理計画（栄養介入）

■ 価格：1枚1,000円（税抜）

※ 本会から各都道府県栄養士会への卸売価格。

各会員への販売価格については、各都道府県栄養士会にお任せ。

(2) 医療事業部（渡邊理事）

① 8/26 東海北陸リーダー研修会（資料参照）

- ・ 平成30年度の医療・介護の同時改定に向けて、6/20に要望書を提出。

〈診療報酬〉

- ・ 「管理栄養士の病棟常駐」

まずは回りハ病棟の病棟常駐への評価を目指す。

- ・ 「入院時食事療養費（経腸栄養製品を含め）」の適切な評価

昨年の実態調査で、委託業者の撤退や赤字経営の実態が見えてきている。

過去5年で委託変更があった施設へは追跡調査も実施されている。

実態調査も含めて、適正な評価を要望（640円からプラスか、マイナスとなるかは現状不明）

- ・ 「がん病態栄養専門管理栄養士」の評価

現在専門士約350名いるが、がん診療連携拠点病院450施設のうち、150施設にとどまり1施設に複数集中して取得している実態あり。

がん診療連携拠点病院の必要要件として書きこむためには、80%の施設に栄養専門士がいる実態を目指す。がん診療拠点病院へは個別に通知。今年度は試験を追加して対応

〈介護報酬〉

- ・ 介護保険施設では、栄養ケアマネジメントの専任の管理栄養士配置を要望

〈医療報酬・介護報酬〉

- ・ 地域包括ケアシステムの推進のなかで、医療機関・介護施設・在宅の連携強化のため、管理栄養士による退院時における食事支援に関する評価を要望

栄養情報提供書を使用して、何らかの連携を図る場合への評価等、戦略を考えていく

② 8/26 (土)「栄養情報提供書を学ぼう①②」

名古屋にて開催された

- ・伝達講習は、90分×2コマが必須。事前登録して行う。(修了証の発行も可)

(3) 広報部 (池谷理事)

7月30日 第1回広報部会 開催報告

(出席者8名欠席者6名)

- HP・メールマガジンの確認作業について
- 栄養士が進めるメニューの募集と内容確認
 - ▶ 昨年度の部会で承認された内容を反映し一部修正を行った。
 - ▶ 年度末までに20品はほしい。今年度は、窓の会から7品くらいの予定、その他は広報部担当から各事業部1品出していただきたい。
- トピックススケジュール10号スケジュールについて
 - ▶ 12月頃 原稿依頼 → 1月×切 → 1,2月担当者会議、校正 4,5月発送で行いたい。
 - ▶ 写真について各研修会やイベントの際、栄養士会のカメラ、又は個人のカメラで撮影し個人の場合は報告書と写真データを事務局に送るようお願いしたい。
- おすすめメニューについて：(広報事業部長、副部長、情報管理理事)
 - ▶ 今までも元データは保存されているが、今後はデータとして保存し栄養価を更新していく。
- その他
 - ▶ 次年度総会時におすすめメニューのコンテストの開催について
 - コンテストの担当は準備を進める。担当：(福山・長谷川・大瀧・長島)
 - 表彰は3人程度、景品は減塩にまつわるもの…減塩小皿、予算1万円まで、賞状を用意する。
 - データは届いたものから順次福山理事に送り、担当へ振り分ける。
 - ホームページにアップするため氏名は伏せておく。

(4) JDA-DAT リーダー養成研修参加報告 (池谷理事)

9月30日 8:30~17:30

10月1日 8:30~15:00

9月25日(月)午前10:10に神奈川県を震源とする地震が発生したと想定して、発災後6日経過したと想定で訓練が行われた。神奈川県現地対策本部を中心に4つのエリアで分け、各避難所ごとに、想定された支援活動を協力して行った。

参加者：スキルアップ研修受講者25名リーダー養成研修受講者75名が参加した。

1日目ロールプレイ1~7議事録・報告書の作成、災害支援の基本

2日目ロールプレイの振り返り・発表 講演：災害時のメンタルヘルス(原田奈穂子先生) 提供物資の試食 講演：JDATリーダーとしてのミッション(笠岡宜代先生)「今年度研修の総括」と2日間実践に即した研修会を受けることができた。

各県の参加者から、東北や熊本に支援に行かれた方から、食事はどうしたのか、宿泊はどうしたのか、などの質問や各都道府県のDAT研修会について、救急救命などDATの研修をするのに予算など難しい面があるが他県ではどうしているか?パッキングについて、安全面など疑問視す

る部分もあるのではないかなど活発な意見が交わされた。

(5)第2回顕彰選考委員会開催報告(岡本総務部長)

本日、10時から開催。表彰の基準を検討している。

(6)福祉事業部(田森理事)

ふじのくにケアフェスタ2017 報告

開催日時:9月16日(土)17日(日)10:00~16:30 ツインメッセ静岡

(日曜日は台風の影響で16時まで)

主催:静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課

公式HP <http://www.kaigo2016.net/>

事業依頼:現場の魅力発信ブースでの栄養士会からの情報提供など

担当:地区事業部 福祉事業部

従事者:1日目 石垣理事 神戸会員 大橋会員

2日目 田森理事 寺田理事 油井会員(清水会員)

予算:人件費5000円×3名×2日分(30000円)

準備物品:①掲示用のポスター類 ②配布用の冊子類 ③栄養士会案内ポケットティッシュ

④スタッフジャンパー ⑤紹介DVD&パソコン ⑥のぼり ⑦その他

⑧中北薬品活命茶20ケース

【反省】

*企画準備不十分もあり、特に1日目の担当者にはご迷惑をかけた。大会の趣旨がうまく伝わらず、思うようにアピールできなかつたと報告があつた。高齢者の食事の案内等が欲しいとのことだった。

*他に嚥下障害の食事などの展示が少なかつたため、ポスターやパンフレット、フードモデルなどがあると興味をひくと思う。パンフレットの種類は多く入っていたが、並べるスペースがなく、机の追加が必要だった。何のパンフレットが入っているのかわかりにくかつたので、関連するものを上に入れるとか、一覧表を入れるなどの工夫があると良かった。椅子も、スタッフの人数分は欲しい。

*お茶は、栄養士会の紹介の入ったポケットティッシュと共に配り、好評だった。栄養士会のアピールに繋がつた。

*参加者数やターゲットとなる学生の来場が低調のためか、大会そのものの方向性がいまいち理解できなかつた。隣のトレインランド(幼児向けイベント)の来場者が多く、その流れで来客があつたが、あまり興味は示されなかつた。

*今回、福祉事業部と地区担当者との実施となつたが、栄養士の雇用はどこで聞けばいいか、高齢者の食事についてどこで聞けばいいか等の質問があり、次回からは栄養士会の紹介をする意味で、ケア・ステーション事業をアピールする場としても活用できると感じた。

*高校生など将来を考えている若い世代に対してもアピールする絶好の機会だった。

*会議費や消耗品費が曖昧のため動きにくかつた。事前に申請すべきだった。

(7)地区事業部(大瀧理事)

【健康づくり啓発協力事業について】

① 栄養の日・栄養週間 2017『栄養ワンダー2017』実施報告（福山理事）

開催日時：8月3日（木） 1日間

実施場所：ツインメッセ静岡 株式会社コーゲツ 50周年記念大感謝祭イベント内

総参加人員 1000名以上 啓発人数 約500名

従事者：福山理事、矢ノ下理事、秋谷監事、事務局 鈴木

経費：人件費5,000円×3人 交通費8,540円

反省点：サンプリングの物資や資料等が大量の荷物になり、会場への運搬が困難であった。

（坪井会長、事務局協力）

大規模なイベントだったため、人数が足りず、会場のセットに時間がかかった。

栄養士会への細かな質問も多かった（職業紹介や入会の仕方など）

良かった点：一般の方への栄養の日のアピールが充分にできた。

配布物が目をひきたくさんの人が集まってくれた。

栄養士会の宣伝にもなり栄養士会への細かな質問も多かった。

（職業紹介や入会の仕方等）

②しずおか元気応援フェア 2017 報告（石垣理事）

開催日時：10月7日（土）8日（日）10:00～16:30 ツインメッセ静岡（日曜日は16時まで）

主催：静岡新聞社・静岡放送

内容：健康いきいき みんなで約束「健康ゾーン」における啓発

- ・静岡県給食協会と連携し、インボディの測定結果から栄養相談を実施
- ・栄養に関するポスターを展示し、リーフレット等を配付した。
- ・栄養士会のポスターを展示した。
- ・野菜クイズを展示した。

ブース来場者：10/7 128名、10/8 111名 計 239名

担当：地区事業部 医療及び地域活動会員

従事者：1日目 鈴木会員、梶本会員、石垣理事 神戸会員

2日目 鈴木会員、佐々木華子、大瀧理事、高橋会員

経費：人件費5,000円×4名×2日分（40,000円）＋消耗品5,562円

事業効果：・インボディ測定結果から体脂肪に興味を持ち、好ましい体組成に近づけるための食事について考えることができ、県民の健康づくりの一助になった。

・自己流の食事をしている方に対し、望ましい食事について伝達し、県民の栄養改善につなげることができた。

・栄養関係や栄養士関係の連絡先として栄養士会があることを広く周知した。

感想：今年から、静岡県給食協会と協力し、インボディ測定後の栄養相談を担当したが、担当栄養士が増えたことにより、相談がスムーズに行えた。来場者にとって落ち着いた相談ができた。

小冊子「ヘルシーダイアリー」を配付でき、食事についての理解に役立った。

③ぬまづ歯っぴー健康フェスタ 2017

開催日時：10月28日（土）9：00～12：00（会場：サンウェルぬまづ）

主催：沼津市

内容：バランスのよい食事でカルシウム摂取を！

試供品とパンフレットの配付、試食南瓜の牛乳煮

予算：人件費2,500円×1名=2,500円 従事者：斎藤裕子

④しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどい（東部会場）

開催日時：12月6日（水）13：00～16：30（会場：プラサヴェルデ 3階）

主催：しずおか健康いきいきフォーラム21

目的：いきいきフォーラム21構成組織、健康づくりサポーター等の連携協働による健康づくり活動が、より活発に行われるよう相互交流を図るとともに、県民への周知を図る。

出展内容：減塩についての周知を図る

減塩リーフレットの配付、天然だし等減塩に関する試供品の配付、減塩とまるとん汁試食
減塩レシピの配付、減塩に関するパネルの展示、持参した味噌汁の簡易塩分測定

予算：人件費2,500円×2名=5,000円 消耗品5,000円 食材料費10,000円まで（主催者支出）

試食・試供品の提供がある場合

⑤ふじのくに食と花の都の祭典

開催日時：1月13日（水）～14日（日）10：00～16：00（会場：アクトシティ浜松）

主催：静岡県、ふじのくに食の都の祭典実行委員会、ふじのくに花の都しずおか推進協議会

趣旨：静岡県の「食と花」の魅力を一体的・効果的に発信することで、和の食文化の継承、県産農林水産物の消費拡大や生産振興を図るため、「食と花の体験」を一度に楽しむことのできる「ふじのくに食と花の都の祭典」を開催する。

（テーマ：魅力を体験！しずおかの食と花で生活を豊かに）

出展内容：（案）リーフレット配布、県の農水産物を活用した試食、ゲーム等（未定）

体験型の内容を検討する。

予算：人件費5,000円×4人×2日分=40,000円 消耗品10,000円

従事者：4人×2日

⑥しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどい（西部会場）

開催日時：2月16日（金）13：00～16：30（会場：アクトシティ浜松3階）

主催：しずおか健康いきいきフォーラム21

目的：いきいきフォーラム21構成組織、健康づくりサポーター等の連携協働による健康づくり活動が、より活発に行われるよう相互交流を図るとともに、県民への周知を図る。

出展内容：（案）展示、リーフレットや試供品の配布、

試食・試供品の提供がある場合は主催者から支出

予算：2,500円×2人=10,000円 消耗品5,000円 食材料費10,000円まで（主催者支出）

従事者：2人

試食・試供品の提供がある場合

⑤、⑥の担当者については、岡本副会長、西部の理事に相談する。

(8) 静栄DAT

H29.9.25JDA-DAT 緊急時連絡シミュレーション 報告

【訓練状況】

平成 29 年 9 月 25 日（月）午前 10：10 に神奈川県を震源とする地震が発生。

神奈川県横須賀市が震度 7。甚大な被害が発生。

11：05 日栄に災害対策本部が設置された。

13：03 日栄本部より、各県会長あてに出動要請があった。

13：38 坪井会長に確認して、静岡県での応援が決定された。

16：21 静栄事務所から理事・運営委員・リーダーにメール配信（寺田作成）

【返信内容（ミッション）】

①自分・家族の安否確認

②自宅または地域の被害状況

③9月30日（土）10月1日（日）の応援状況

④10月2日（月）～10月15日（日）の応援状況

⑤その他の連絡事項

※③と④に関しては、リーダー以外のスタッフ登録されている方々も返信を要請。

依頼から 72 時間を目途にリストを作成した。9 月 28 日（木）13：00 までに必ず事務局に返信することとした。

【返信結果報告】

- ・期日までに 16 名の返信あり（37 名に送信）
- ・返信依頼内容が曖昧な部分があり、記載がまちまちであった
- ・あくまでも訓練だが、チームが 3 つ編成できた（3 名×3 チーム）
- ・ラインでの返信は 7 名あった

【今後の課題】

- ・緊急時の連絡方法はメールで良いのか？
- ・静岡県が被災した場合、今の体制で良いのか？
- ・スタッフや会員に向けた案内をどうするか？

(9) 地域活動事業部

①8/6（日）平成 29 年度地域活動事業部のスキルアップ研修会

「地域栄養ケア会議における助言者としての管理栄養士の役割」

埼玉県和光市コミュニティ会議助言者 水野三千代氏の講演

※地域包括ケアシステム強化のための介護保険法等の一部を改正（平成 28 年制度改正）

改正の観点

- ・自立支援・重症化防止に向けた保険者機能の強化
- ・介護保健制度の持続可能性の確保

<保険者機能の発揮・向上>保険者が他職種の参加する地域包括ケア会議を活用しケアマネジメント支援を行うこと。となっているのでここで栄養ケアの会議に栄養士を入れていただくように働きかけをかせ

ることが大切である。各県に戻ったら平成30年からは各市町村ではこのような会議が行われるはずであるのでぜひ地域にいる栄養士を活用してもらうように努力して欲しい。また実際に地域に入る栄養士は栄養ケア・ステーションを通じて活動できるスタッフを養成しなくてはならない。

②富士宮市地域包括支援センターからのケアマネジメント会議への参加について

富士宮市地域包括支援センターから関連職種の各団体に対し、ケアマネジメント会議の委員を1名選出する依頼があり、栄養士会からも若林理事を委員として選出した。

第1回ケアマネジメント会議が、10月19日(木)18時30分～20時30分に開催された。

多職種(医師・歯科医師・薬剤師・ケアマネ・ヘルパー・理学療法士・地域包括支援センター・行政職等)が集まり事例検討が行われた。次回は12月7日(木)18時～

③日本栄養士会「平成29年度栄養ケア活動支援整備事業

～栄養ケア寄り添い型ソリューション事業(よりソリプロジェクト)～」への参加について

地域における在宅医療・介護連携推進事業に関わる管理栄養士育成のためのワーキングメンバーは、静岡県栄養士会からは、若林理事、紅林監事、木下初代地域活動事業部運営委員の3名が選出された。

その後、東海北陸ブロックは愛知県がブロックリーダーとなり、第1回の東海北陸ブロック会議が、10月19日(木)に愛知県栄養士会にて開催され、木下運営委員が出席した。

11月3日地域包括支援センターの実践事例を日栄に挙げてほしい。

(10)委託事業報告(地域活動事業部)

①「健康な食事について考える」冊子作成事業の進捗状況

10月8,9日、常葉大学にて料理60品を、主食、主菜、副菜に分けてメニュー作成し、料理作成及び写真撮りが終了、10月末までに料理の原稿の修正を行う。栄養計算提出11月中旬、11月末までに文章の提出にて、冊子全体の構成ができ上がる予定。

12月に御殿場高校よりイラストの提出があり(依頼済み)、冊子の原稿調整を行う。

1月には最終原稿完成の予定。

②しずおか健幸惣菜レシピ募集等業務

静岡県健康増進課委託事業(「しずおか“まるごと”健康プロジェクト」の一環で実施)

契約日:9月1日 契約期間:9月1日～30年3月26日

内容:「しずおか健幸惣菜」選定の基準検討会の開催

「しずおか健幸惣菜」の募集・選定

「しずおか健幸惣菜レシピ集」原稿の作成

【進捗状況】

第1回 「しずおか健幸惣菜」選定の基準検討会

開催日 9月21日(木)17:00～19:30 (会場:静岡県庁西館4階健康福祉部会議室)

出席者

委員:静岡県立大学食品栄養科学部生命科学科 (委員長)市川陽子 准教授

常葉大学健康プロデュース学部健康栄養学科 川上栄子 准教授

(株)静鉄ストア商品部デリカ課 伊藤新治郎 課長
シダックスフード(株) 小野田泰宏 シニアマネージャー
ヤマハモーターサポート&サービス(株) 前田直美 管理栄養士
マックスバリュ東海(株) 原田 愛 管理栄養士 (欠席)
静岡県健康福祉部 土屋 厚子 理事
静岡県健康増進課 日置 朝子 専門主査

栄養士会：坪井会長、新井副会長、若林理事、池谷理事

検討内容 (資料参照)

・「しずおか健幸惣菜」選定の基準について決定

募集1 主菜：エネルギー550kcal 未満、食塩相当量 2g 未満、野菜量 (付け合せは 50g 以上使用) *肉・魚・卵・大豆製品 90～150 g 使用

募集2 副菜：エネルギー200kcal 未満、食塩相当量 1g 未満、野菜量 70g 2種類以上使用

募集3 主菜と副菜：エネルギー450～650kcal、食塩相当量 2.7g 未満、野菜量 主菜や副菜の規定を満たし更に野菜量 (120g 以上)、食塩相当量に特徴がある物

・募集に関する詳細の決定

10月16日ホームページアップ (応募締切 11月30日)

12月5日担当者会議 レシピの整理・訂正

*第2回検討会開催日 12月11日 (月) 16:00～18:00

③外食料理栄養成分表示事業

・富士宮市委託事業について

栄養成分表示店6店舗、地産池消登録店4店舗決定。10月18日にランチセミナー実施。

④食品表示適正化・活用普及委託事業

・講習会テキストの作成：昨年度のものに修正を加え、第2版を450部作成した。

・栄養成分表示作成講習会 (東部・中部・西部 各1か所) 開催時間：午後1時30分～4時30分

10月6日 (金) 掛川市生涯学習センター 第4会議室 (定員 140名) 参加者 82名

10月27日 (金) 富士市勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」(定員 150名)

11月17日 (金) 焼津市総合福祉会館「ウェルシップやいづ」(定員 160名)

講師：静岡県立大学 准教授 市川 陽子 東海大学短期大学部 助教 遠藤 泰子

演習サポート：静岡英和学院大学短期大学部 助手 佐藤 美紀 地域活動事業部 池谷理事

⑤幼児から始める食育講座の途中報告 (資料参照)

今年は調理実習がなくなり、中部の幼稚園に断られたため、西部が3園となった。

(11)在宅介護者食生活支援研修会

別紙実施要領及びチラシのとおり開催。10月18日三島周辺の行政高齢者担当部署へチラシを送付し、包括センター、訪看等へ配布依頼。行政健康づくり文書へはメールにて連絡予定。

(12) 栄養ケア・ステーション事業報告 (久保田理事)

① 業務受託状況

特定保健指導 18 件、病態栄養指導 11 件、介護支援 15 件、食育支援 80 件、食と健康支援 19 件、計 143 件

② 職業紹介事業

求人件数 新規 24 件 新規求職者数 6 名、紹介者数 4 名、雇用契約成立 4 件
(有効求人 33 件、有効求職者 20 名)

③ 平成 29 年度 第 1 回栄養ケア・ステーション担当理事会議 (報告)

日時・場所：10 月 1 日 (日) 10:00～12:30 静岡県栄養士会事務所

出席者：坪井会長、久保田栄養 CS 部長、鈴木栄養 CS 副部長、小嶋栄養 CS 担当理事、石垣栄養 CS 担当理事、鈴木栄養 CS 事務局

・ 栄養 CS の登録者について

現在の登録者 244 名。平成 21 年より 1 回の登録で継続登録者となっている。常勤者には依頼できない業務が多く人材不足が継続。登録者の総会やスキルアップ研修会 (効果的なプレゼン等) を企画し、人材育成や登録者交流の場を作る必要あり。今後、登録更新 (2 年毎など) 制に変更
⇒2 月の栄養士大会にてポスター発表し会員に周知する。

・ 今後の栄養ケア・ステーションについて

市町との連携、企業を巻き込んだ事業を展開していく。県内 3ヶ所 (東・中・西) を拠点に活動できる体制を構築する。

④ 静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会 (報告)

日時・場所：10 月 12 日 (木) 19:15～20:20 静岡市静岡医師会 3 階講堂 (懇親会：20:30～22:00)

参加者：医師 27 名、医療機関職員 17 名、栄養士会会員 33 名 合計 77 名

演題・講師：「脂質異常症患者に対する栄養指導の基礎と実践報告」新井英一副会長

(13) 静岡県栄養士会 法人設立 25 周年記念事業について進捗状況報告 (坪井会長)

記念誌の原稿については、岡村名誉会長、山下名誉会員に協力をお願いする。また、事業部ごとに記念誌の原稿を依頼する各事業部会の功労者や大先輩を選出してほしい。

運営委員については、法人になるにあたって貢献頂いた菅野会員、西島会員、大野会員などに委員を依頼したいと考えている。

記念事業の推進には、記念誌編集委員と式典運営委員を設け、各事業部の理事 2 名がいずれかを担当する。

記念誌は、30 年度のトピックスと合同とし発行する。トピックスで報告していた事業などは、本年度のみ HP に掲載する。

記念に広告を載せることとし、賛助会員をお願いする。

(14)その他

特になし

5 協議事項

(1)「東海北陸地区代表者会議」2019年開催の当番県となることについて（岡本総務部長）

開催地（東部・中部・西部）の決定。*2018は富山県

※前回の静岡県開催地：熱海（平成24年8月25日（土）、26日（日））

2019年は静岡が当番。

2019年の静岡での開催会場は、次年度に決める。

以上について、全会一致で承認された。

(2) 静栄「栄養ケア・ステーション」の今後の運営について（久保田理事・担当事務）

今後の運営

登録制度 今後2年に1度登録を更新制度にしたかどうかの案が出た。

登録者の交流会や研修会を行う。

更新制度の予算はどのようになっているか。参加者に一部負担金をいただき、予算の取りながら行っていきたい。

現在244名の登録者がある。しかし、実際動けるのは10数名ですと思われる。

現行の研修会にCS会員は手上げた領域の研修会に参加することとする。

CS登録状況を調査とCS会員への今後の研修会制度についてお知らせする。

更新制度については経費の面から難しいので、今回は再調査が良いのではないかと。また、研修の開催については、現在、行っている研修に参加してもらう。業務を依頼する際は研修を受け、自己研鑽している会員を優先に依頼すべきであるとの意見が出た。

次年度に登録の再調査を行う。更新制度や研修会・交流会の開催は、今後検討する。

以上について、全会一致で承認された。

(3) 日本栄養士会「平成29年度栄養ケア活動支援整備事業（木下・紅林・若林）

～栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（よりソリプロジェクト）～」事業について

10月19日に愛知県栄養士会で開催された東海北陸地区会議にて、日本栄養士会より、平成30年度から栄養士が地域包括ケアに関わっていくことを推進するために、平成29年度中に会員を対象とした研修会を、各県栄で開催するよう依頼があった。

研修会は、日本栄養士会が12月16日に作成する予定のDVDを使う内容とし、所要時間としては10時～16時30分程はかかるものとなる。各中学校区に1つ、栄養ケア・ステーションの拠点があるような環境を整えることを目標としている。なお、この研修会実施に係る費用（会場費・講師料・資料代）は日本栄養士会が負担することとしている。

研修会の内容がよくわからないため、今年度は開催しない。今後についてはDVDの内容を確認してから行うと報告する。

事例は、事例内容の精査の時間がないことや個人情報の確認などの点から報告しない。

以上について、全会一致で承認された。

(4) 研修会での新会員証取扱い状況と問題点の有無（新井事業部長・担当事務）

① 継続会員に2枚の会員証がある点について、日栄からの連絡にあるように、はさみを入れて破棄または 栄養士会に返納 と案内されているので、理事に問合せなどがあつた場合には、その旨伝えるようお願いしたい。また、静岡県栄養士会として、研修会の受付にて、旧会員証の回収箱を置くので、そちらに投函でも可とする。研修会に旧会員証を持参の会員に対しては、バーコード受付時、次回から新会員証の持参を促してほしい。

② 新入会員に会員証が届くのは、「初回の栄養士会雑誌が届く頃」と入会時送付書類で案内している。問合せが事務局にあるので、様々な研修会等でも伝達の対応をしていただけると有難い。

③ 新入会の手続きについて、入会申請と入金との2つが揃ってからの対応となるので、未納者にカードが届くことはない。

会員証については上記のとおり運用することとなった。

問い合わせされた会員については、再度カードの有無を確認いただき、ない場合は日栄に問い合わせをするように伝える。

以上について、全会一致で承認された。

(5) 研修部

① 生涯教育の推進及び日栄DVDの活用について（別紙資料参照）

- ・生涯教育推進に向けた対策について
- ・DVD販売となった4項目について、1枚ずつ購入予定⇒日栄よりサンプルCDが届いている
- ・理事にて内容を確認し、運用検討

研修会を受けられる環境は整えていく。日栄で作成した生涯学習DVDは都道府県に販売が委託されたので、問い合わせがあつたら調整中とする。

静栄のDVDがあるので、どのように運用方法をしっかりしていく。

② 2/10 静岡県栄養士大会

- ・研修会「(仮) 地域包括ケアシステムへの管理栄養士の参画～京都での挑戦～」
(一社) 愛正会 愛正会山科病院 消化器外科部長 荒金 英樹先生
- ・研究発表会 10/2 現在申込み 1件
- ・交流会 理事にて協力。 会員増加・会員定着につなげる
- ・会場 静岡あざれあ5階を仮予約

各事業部で2演題程度募集する。

交流会、研究発表会の運用は今後内容を検討する。

以上について、全会一致で承認された。

③ 平成 30 年度 定時総会

開催日：6 月 9 日（土）

総会会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール

展示会場：小ホールと 501 会議室（定員 99 人）を仮予約

講師（案）

① 元 NHK[ためしてガッテン]専任プロデューサー 北折一先生

② 順天堂大学医学部総合診療科准教授 福田洋先生

（栄養士大会講演「健康経営とヘルスリテラシー～職域ヘルスプロモーションのトレンド～
産業医が現場栄養士に期待すること～」

③ 熊本県学校栄養士

定期総会の講演講師は、上記 3 名を候補に挙げた。今後、順に依頼する。
以上について、全会一致で承認された。

④ 29 年度 後期研修会（10 月以降） 《受講者人数は 10 月 18 日現在》

10/22（日）日大三島 生涯教育実務研修会（担当：医療・研究教育）

講演 1「栄養管理に役立つフィジカルアセスメント」

講演 2「水・電解質管理～経口から輸液まで～」

済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長 谷口英喜 先生

参加申し込み 講演 1： 65 名、講演 2： 66 名

11/3（金）ニッセイ静岡駅前ビル 大塚委託事業（担当：東部 参加予定理事）

《指導者のための健康・栄養セミナー》（スポーツ栄養）

講演 1「女性アスリートのためのスポーツ栄養学」

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 教授 鈴木志保子 先生

講演 2「ジュニアアスリートと栄養士 ―食事・睡眠・運動―」

中京大学スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 教授 湯浅 影元先生

参加申し込み 講演 1： 119 名、講演 2： 119 名

12/2（土）静岡あざれあ 生涯教育実務研修（担当：地域 公衆衛生 勤労者）

講演 1「これからの生活習慣病予防対策」

あいち健康の森 健康科学総合センター センター長 津下一代 先生

講演 2「特定保健指導のスキルアップに向けて」困難事例の検討

日本栄養士会特定保健指導担当 管理栄養士運営委員 菊地眞代 氏

参加申し込み 講演 1： 70 名、講演 2： 58 名

12/10（日）日大三島 東部交流会（担当：東部）

東ブロック研修会 静岡県東部の健康・栄養状況について

伊豆市子ども課 大瀧友恵氏

静岡県健康福祉部健康増進課総合健康班 専門主査 赤堀 摩弥氏

田方地区在宅栄養士 宮地あけみ氏

日本大学短期大学部食物栄養学科 篠原啓子氏

東ブロック栄養士交流会

管理栄養士・栄養士として飛躍するために...。皆で考えよう

参加申し込み 研修会： 12名、交流会： 3名

以上について、全会一致で承認された。

(6)平成30年度予算編成について（岡本総務部長・新井事業部長）

①事業計画について（新井事業部長）

・事業編成について

公益事業として公1、公2に分けて、実施しているが、委託事業の増加および高度な依頼が増えてきている。それに伴い、対応できる理事、会員が少なく、最悪のケースとしては同じ理事が多くの事業に携わっており、破綻傾向にある状況である。委託費用の範囲内での実施、委託の開始時期が夏以降になることもあることから、年度内に対応できるか厳しい状況となっている。委託事業などを整理する必要があるかもしれないが、公益性（広報）の観点から、引き受けるべきであるとの意見もある。

また、研修事業、地区の活動など、理事を中心に運営をしている状況だが、こちらも業務増に伴い、破綻傾向にあると思われる。

・改善点について

現時点、具体的な提案はないが、運営委員などを増やす、若手を発掘し育てるなども視野に入れ、今後展開をしたいと考えている。

1月理事会には、予算とともに事業を決定していきたい。12月には各事業部での研修の案を出せるようにしてほしい。

理事以外の方にもかかわっていただきながら、事業を行っている。できればCSなどで行い、会員全体で様々な活動を行っていきたいと考えている。

運営委員の仕事が事業部によって違いがあるが、理事の仕事への理解や今後の理事候補となりうることを考えることから、運営委員の増加・予算 など運営委員の体制を整えていく。

・事業計画及び予算の申請について

次年度の事業計画を立てるにあたり、上記の点を踏まえながら、検討を進めていただきたい。

事業計画及び予算申請締切：12月9日（土）の理事会まで（仮案でよし）

11月30日（木）までに事務局から送られた様式に記入し、送付する。

トピックスは25周年記念誌と合同とするため、例年掲載していた内容の1部をホームページに掲載することとする。

以上について、全会一致で承認された。

②会員名簿の作成について（岡本総務部長）

平成29年度が作成年となるが、これまで通り作成するか、否か協議。

- ・個人情報取扱い上の問題点

今まで通りの方法で行う。

- ・会員名簿作成のメリット

会員の病院や施設等の勤務先を確認するために必要である。

賛助会員の企業では会員の勤務先を知り栄養士会活動へ協力していただける。

- ・〃 デメリット

個人情報を掲載することに難色を示す会員がいること、勤務先の変更や退会等異動があっても名簿に反映されず、名簿としての信頼性に欠けることがある。

今後も名簿は作成する。29年度は作成せず、30年度で作成する。

以上について、全会一致で承認された。

③お友達紹介制度の次年度継続について（岡本総務部長）

景品は32個在庫有り（+受け取っていない人の分 15個）

次年度も継続する。

以上について、全会一致で承認された。

(7) 広報部

①次年度総会時におすすめメニューのコンテストの開催について

- 表彰は3人程度、景品は減塩にまつわるもの…減塩小皿等、予算1万円まで、賞状を用意する。

各事業部は、1メニューの提出の協力をお願いする。

以上について、全会一致で承認された。

②情報管理よりホームページの改訂について

- 新着・更新履歴のページの内容を変更し、会員専用ページにある最新情報トピックスのページを一般向け「栄養士会トピックス」と会員専用と2つにする。

- トップページの研修会案内のグリーン枠は情報公開ページに変更する。

新着・更新履歴は1年分の更新履歴が1年分乗っているだけである。HPは1ページに3万円がかかるので、このページを削除したい。

ホームページの変更の方向はよいが、変更の予算、内容を確認してから決定することとした。

次回理事会に再度議題として提出する。
以上について、全会一致で承認された。

③情報管理よりホームページ(以下 HP)の更新について

昨年度より通常の更新の場合、土日を除く3日前までに(株)エホ・リョーション担当者にデータ書類を添付することになっている。が、なかなかそれができず、また変更や特別の依頼等で前日や当日になることが多い。そのため書類の流れを見直したい。

(現在の流れ)

栄養士会事務局 → HP更新担当者 → (株)エホ・リョーション担当者
時間差が生じ、遅れる

(変更案)

栄養士会事務局 → HP更新担当者
→ (株)エホ・リョーション担当者

時間差を解消でき担当者の負担も軽減すると考えられる。

担当者は自分に送られてきた書類を確認し、エホ・リョーションからの最終デモ版を受信・確認後、(株)エホ・リョーションにアップの指示を出すように変更したい。

事務局は問題ないため、上記の案は、全会一致で承認された。

(8) 理事任期満了に伴う役員改選について (坪井会長)

①次期理事数について

理事の定数：17～25名 ※監事は4年任期のため、今回改選なし。

現在、理事22名：代表理事3名、理事19名（医療4名、学校2名、勤労者2名、研究教育2名
公衆衛生2名、地域活動4名、福祉3名）

【参考】

会員数	医療	学校健康	勤労者	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
29.9.30 現在	471	92	36	44	105	245	295	1,288名

次期の理事数は、現状と同じ人数とする。

以上について、全会一致で承認された。

②日本栄養士会代議員数について

現在7名+補欠1名（現在は医療より選出）

会長、副会長2名、職域事業部長3名（医療・福祉・地域）、連盟支部長 =7名

日本栄養士会代議員数は、定款により250名と定められている。

各県の代議員数は、2名に、前年度末の会員数に応じた数名が加わる人数となる。

次期の代議員数は、今期と同じ方法で選出する。

以上について、全会一致で承認された。

③選挙管理委員会の立ち上げについて

- ・選挙管理委員の任命について（10月末任期満了）
現在：奈良和幸委員長（医療）、大橋路代委員（地域）、
清水洋子委員（地域）、阿部節子委員（福祉）

※選挙管理者

現在：芹澤陽子会員（医療）、木村郁代会員（地域活動）

④役員改選までのスケジュールについて

第1回選挙管理委員会の開催について

平成29年11月10日（金）18:00～（場所：栄養士会事務所）

(9)会員の承認について（岡本副会長）

新会員33名は、承認された。

（会長より）身近な会員へ継続や未会員の栄養士への加入を研修の場などで、会員に伝えていくようお願いしたい。

(10)その他

DAT研修会の参加（池谷理事）

大変勉強になった。

（会長より）市町の栄養士多くの会員が参加し、いざと被災地に行くときにスムーズに支援できるような体制にすることである。今後、積極的に研修会に参加するように連絡・広報してほしい。

6 連絡事項

(1) 静栄 DAT より

リハビリ3団体（PT・OT・ST会）と後援又は協力の形で研修会を企画中。日程は平成30年1月21日（日）防災センターにて実施。詳細については11/11運営委員会の後報告する。

(2)会員への通知発送について

- ・12月6日（土）第5回理事会後、次年度会費納入依頼通知の発送を予定
- ・2月中旬 次期役員選挙公示の通知

(3)郵便料金の値上げについて

平成30年1月～

ゆうメール（定形50g）76円⇒77円

（定形外500g迄）81円⇒92円【100g、150g、250gと細かく料金が設定される】

（定形外1kg迄）109円⇒129円

昨年の実績から年間約10万円の増額が見込まれる。

7 その他

特になし

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

11月18日、12月2日は会長の出席

2月3・4日 リーダー育成研修会（福井）

1月27・28日 研究教育全国研修会（福岡）

1月26・27日 地域全国リーダー研修会（東京）

11月24日 学校全国リーダー研修会 25・26日は全国研修会

2月中旬から3月上旬で研究教育事業部の研修を計画中

(2) その他

① 静岡栄養代謝の会 3月10日（土）14時～ レイアアップ呉服町ビル CSA 会議室 6階
研究助成等もあるので若い会員への周知も必要である。

② 11月3日公開講座について

一般5名申し込みがあり、会員以外の方へ連絡する。


以 上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成29年10月21日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井 厚 

副会長 岡本 康子 

副会長 新井 英一 

監事 紅林 真佐代 

監事 秋谷 美志子 